

2021年4月30日

第3期スポーツ基本計画の策定に向けた書面意見書

全国体育系大学 学長・学部長会
会長 高見 令英 (公印省略)

1. スポーツ振興に向けた本会の取組状況等

全国体育系大学学長・学部長会（以下、本会という。）は、体育系大学における教育研究並びに管理運営等に関連する事項について協議し、相互の連絡・理解・親睦を図りわが国体育の向上発展に寄与することを目的とし、1970年に発足しました。現在34大学（登録会員数65人）が加盟しており、近年の主な取り組み内容は次のとおりです。

年月	活動内容
2010年4月	【文部科学省】 「スポーツ立国戦略」の策定に向けたヒアリングへの参加協力 文科省スポーツ・青少年局企画・体育課
2011年10月	【文部科学省】 「中央教育審議会スポーツ・青少年分科会 スポーツの推進に関する特別委員会」への資料提供
2011年10月	【報告書】 教育の質保証に関する報告書 「体育・スポーツ学分野における教育の質保証－参照基準と教育関連調査結果－」を発刊全国体育系大学学長・学部長会教育の質保証委員会 [編]I 書誌 ID(NCID):BB08004301
2013年8月	【シンポジウムでの発表】 日本体育学会の緊急シンポジウムにおいて、体罰などの暴力行為に反対する声明を発表
2015年9月	【シンポジウムの開催】 「東京オリンピック・パラリンピック成功に向けて、体育系大学として、今何をすべきか？」（主催：全国体育系大学学長・学部長会）

2017年4月	日本スポーツ振興センター：スポーツキャリアサポートコンソーシアムへ入会
2018年5月	<p>【講演会の開催】</p> <p>「2020年、体育系大学に期待すること、求めていること」 スポーツ庁次長 今里 讓 氏 （主催：全国体育系大学学長・学部長会）</p>
2018年6月	<p>【意見交換】</p> <p>東京オリンピック・パラリンピック競技大会のボランティア等に関する大会組織委員会と学長・学部長会の意見交換 （東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会）</p>
2019年1月	<p>【シンポジウムの後援】</p> <p>緊急公開シンポジウム「わが国におけるスポーツの文化的アイデンティティ再考」（日本学術会議健康・スポーツ科学分科会、日本スポーツ体育健康科学学術連合、（一社）日本体育学会共催、後援：全国体育系大学学長・学部長会ほか）</p>
2019年10月	<p>【シンポジウムの開催】</p> <p>「体育系大学におけるアスリートサポートシステム」 ～UNIVASによる大学スポーツの価値向上への貢献の可能性～ （主催：全国体育系大学学長・学部長会）</p>

2. 現状において抱えている課題

記載せず。

3. 第3期計画に期待すること

2011年に「スポーツ基本法」が施行され、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利」であるとし、スポーツ立国の実現を目指し、国家戦略として、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進することが明記されるとともに、スポーツの持つ価値を国民の皆が享受できる社会を創出することは、国の義務であることが明示されました。そして、同法に基づき2012年度に「第1期スポーツ基本計画」、2017年度に「第2期スポーツ基本計画」が策定されました。

第2期計画では、多様な側面を持つスポーツの価値を高め、広く国民に伝えていくため、「スポーツで『人生』が変わる」、「スポーツで『社会』を変える」、「スポーツで『世界』とつながる」、「スポーツで『未来』を創る」の、4つの観点からスポーツ参画人口を拡大し、スポーツ界と他分野との連携・協働により「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むことが基本方針とされています。

我々、「全国体育系大学学長・学部長会」も本会の目的でもある、わが国の体育の向上発展に寄与すべく、「第2期計画」に示された事業の実現に向けて、協力・実行させていただきます。

近年の少子高齢化に伴い、地域の活性化、健康寿命の延伸など、国民が安心して暮らせる社会システムの構築は急務であり、「スポーツの力」は大きな原動力になると確信しています。ついては、本会として第3期計画に期待することは下記のとおりです。

- ① 「スポーツ参画人口の拡大」に関して、幼少期における武道・スポーツを経験的学習として高齢期まで持続可能なものとし、「心とからだの一生涯の健康づくり」として捉えた事業計画の強化を図ること。
- ② 障がい者スポーツの普及・発展を通じた共生社会の実現に向けて、第3期計画において、オリンピックとパラリンピックの融合に関する方向性を描くこと。

以 上